

**2022年3月期  
第2四半期  
決算補足説明資料**

**大研医器株式会社**

東京証券取引所市場第一部  
証券コード：7775



# □目次

**2022年3月期第2四半期 決算概要**

**2022年3月期 通期業績予想**

**成長戦略（今期本格上市の新製品）**

# 業績の推移

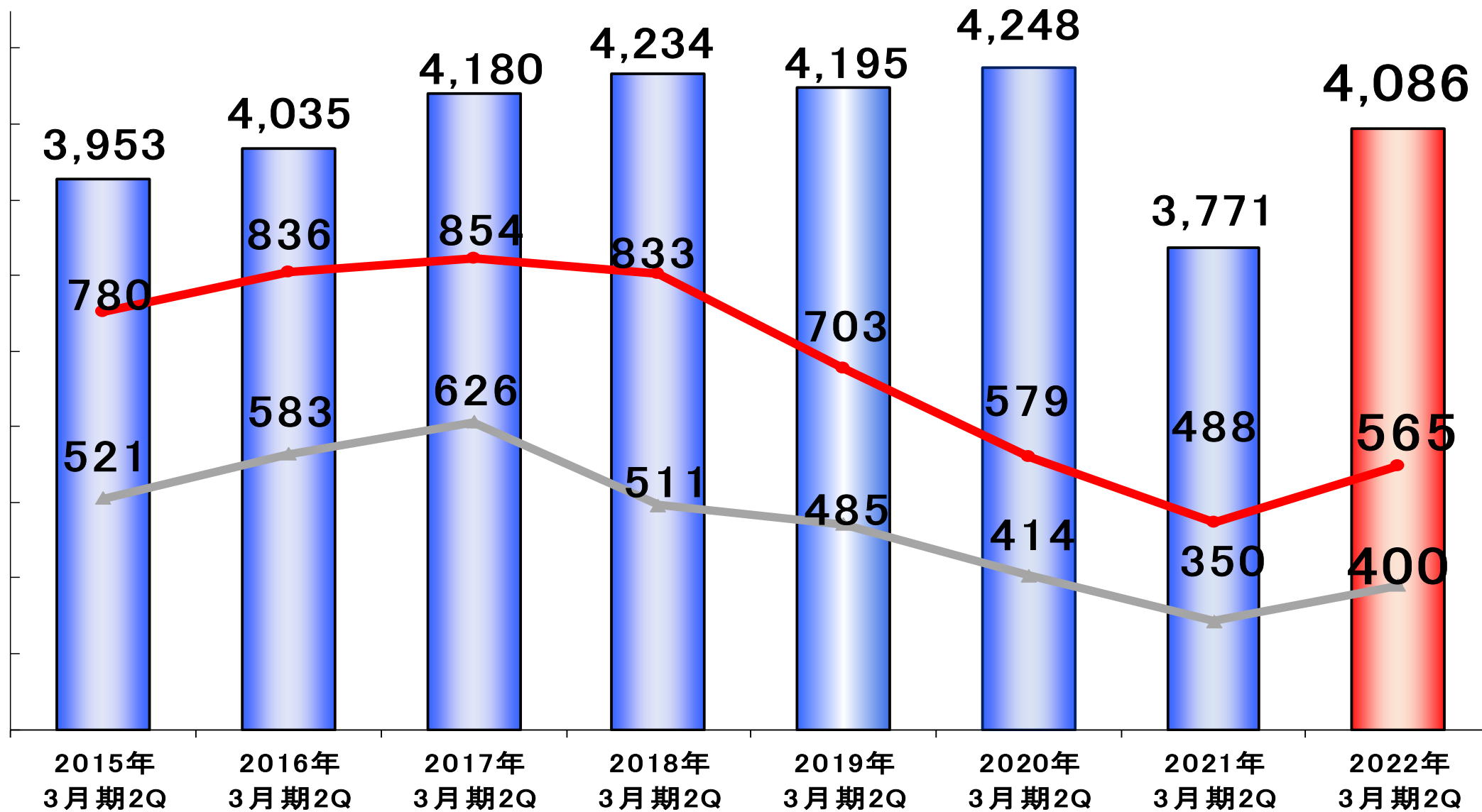
(単位:百万円)

	2021年3月期 (2Q実績)	2022年3月期 (2Q実績)	前期比
売上高	3,771	4,086	8.3%
売上総利益 (粗利率)	1,681 (44.6%)	1,817 (44.5%)	8.1%
販売管理費 (販管比率)	1,228 (32.6%)	1,252 (30.7%)	1.9%
営業利益	452	565	25.0%
経常利益 (経常利益率)	488 (13.0%)	565 (13.8%)	15.7%
当期純利益	350	400	14.2%
一株当たりの配当金	9円	9円	—

# 業績の推移

(単位：百万円)

■ 売上高    ● 経常利益    ▲ 当期純利益



# □売上構成（セグメント別）の推移

## 新型コロナウイルス感染症影響から売上回復基調で推移

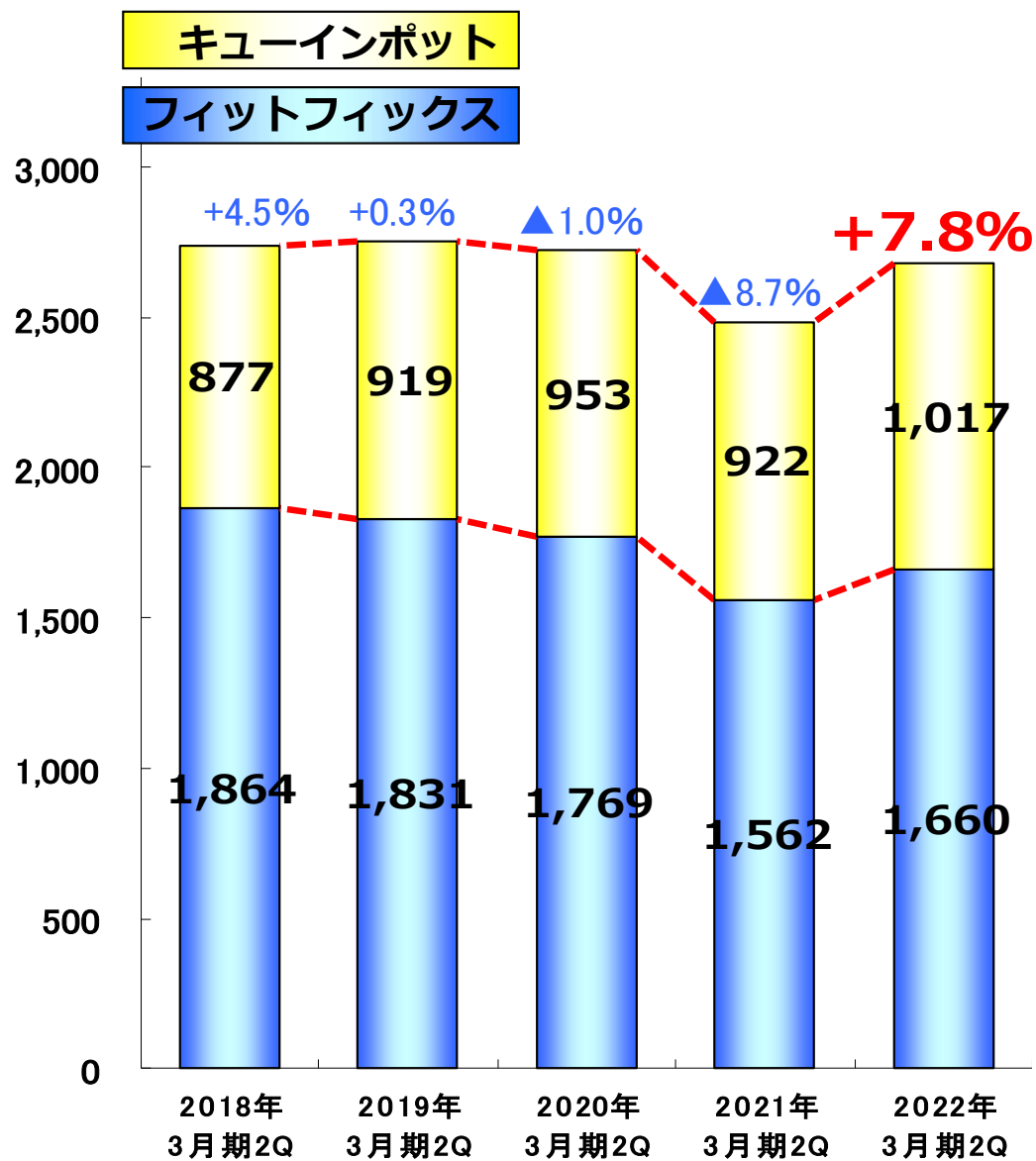
（単位：百万円）

	2021年3月期 (2Q実績)		2022年3月期 (2Q実績)		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>吸引器関連</b>	<b>2,485</b>	<b>65.9%</b>	<b>2,677</b>	<b>65.5%</b>	<b>7.8%</b>
（キューインポットのみ）	（922）	（24.5%）	（1,017）	（24.9%）	（10.2%）
（フィットフィックス+バイロン）	（1,562）	（41.4%）	（1,660）	（40.6%）	（6.3%）
<b>注入器関連</b>	<b>834</b>	<b>22.1%</b>	<b>873</b>	<b>21.4%</b>	<b>4.7%</b>
（PCAセット+エイミー）	（685）	（18.2%）	（745）	（18.2%）	（8.7%）
<b>電動ポンプ関連</b>	<b>50</b>	<b>1.3%</b>	<b>105</b>	<b>2.6%</b>	<b>108.8%</b>
<b>手洗い設備関連</b>	<b>253</b>	<b>6.7%</b>	<b>273</b>	<b>6.7%</b>	<b>7.7%</b>
<b>その他</b>	<b>147</b>	<b>3.9%</b>	<b>156</b>	<b>3.8%</b>	<b>5.8%</b>
<b>合計</b>	<b>3,771</b>	<b>100.0%</b>	<b>4,086</b>	<b>100.0%</b>	<b>8.3%</b>

# 《吸引器関連》

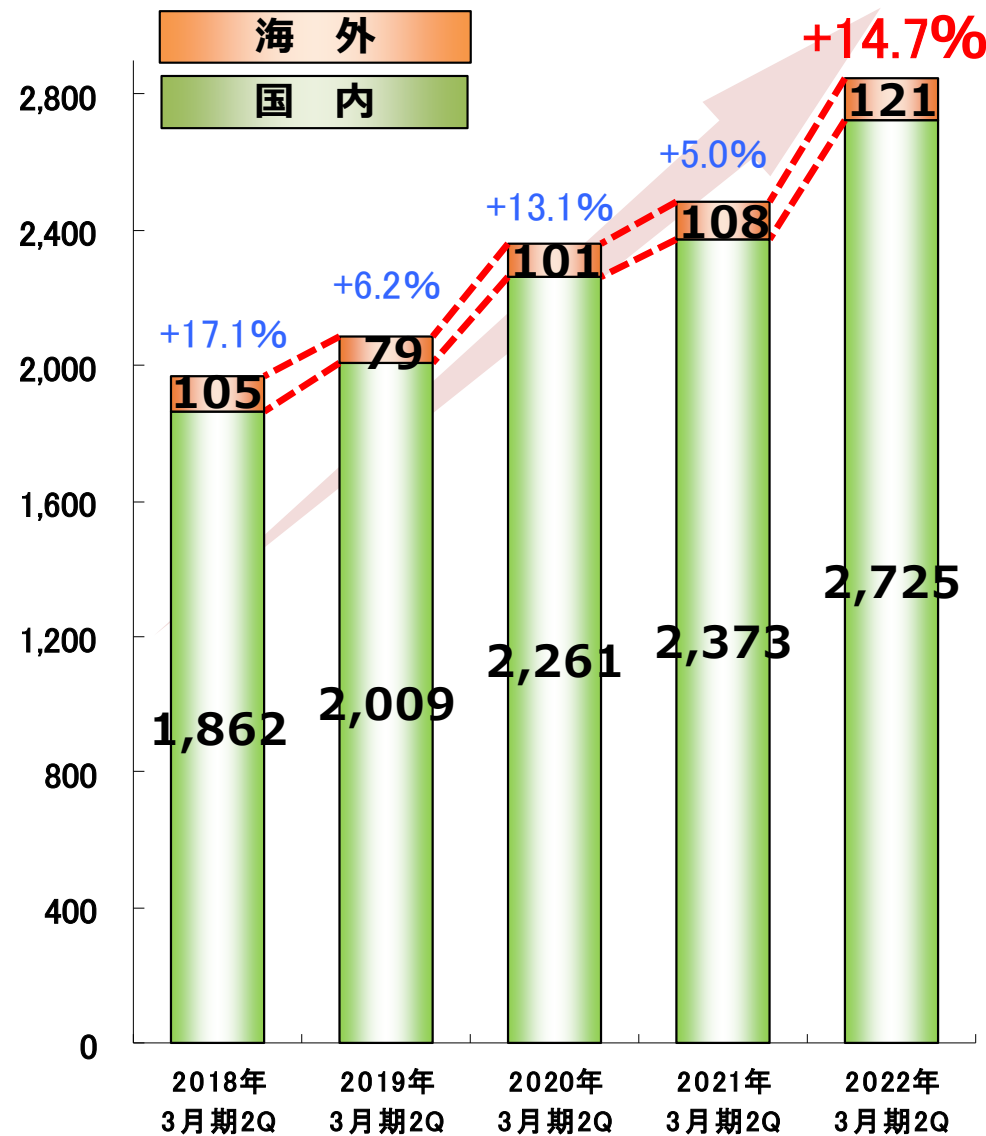
## 売上高の推移

(単位：百万円)



## キューインポットライナー 販売量の推移

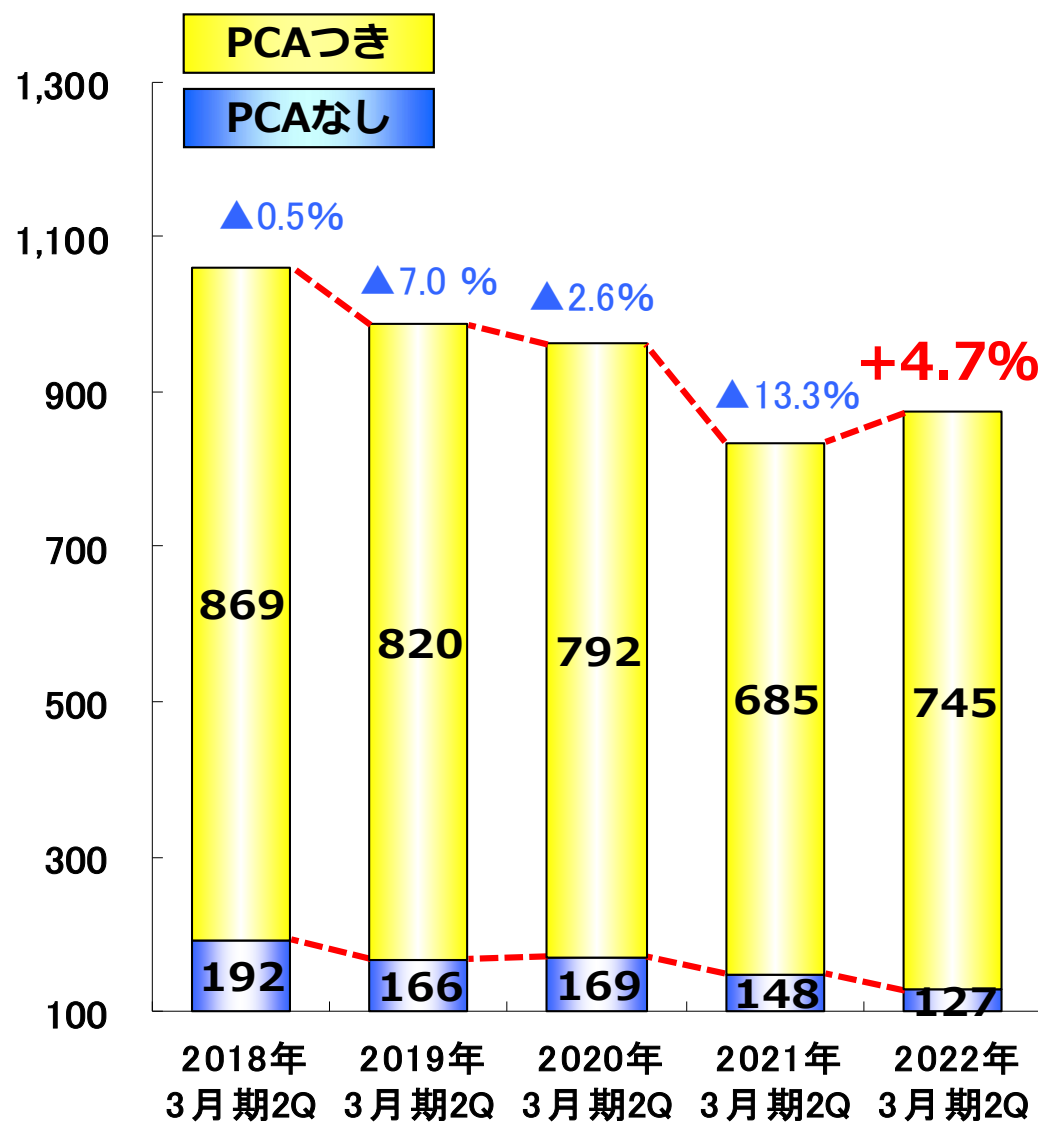
(単位：千個)



# 《注入器関連》

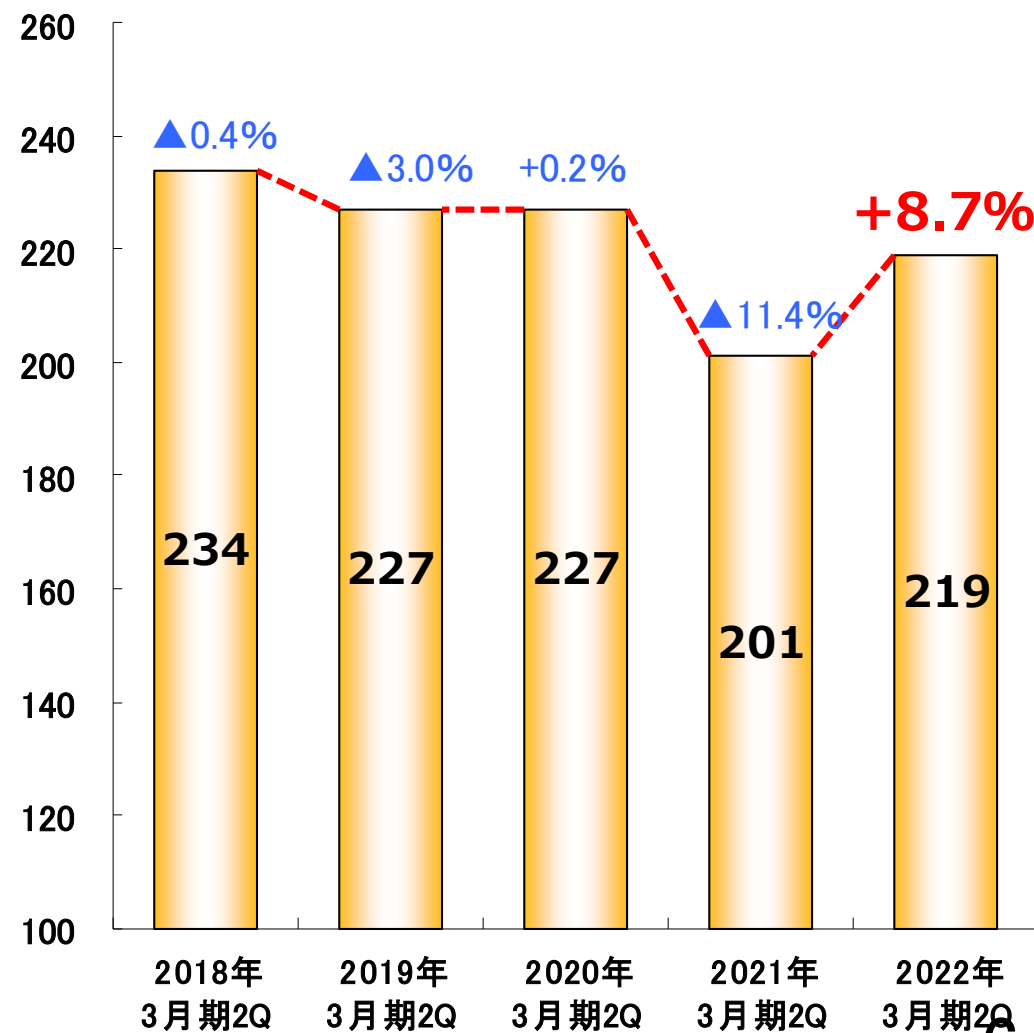
## 売上高の推移

(単位：百万円)



## PCAつき注入器関連の 販売数量の推移

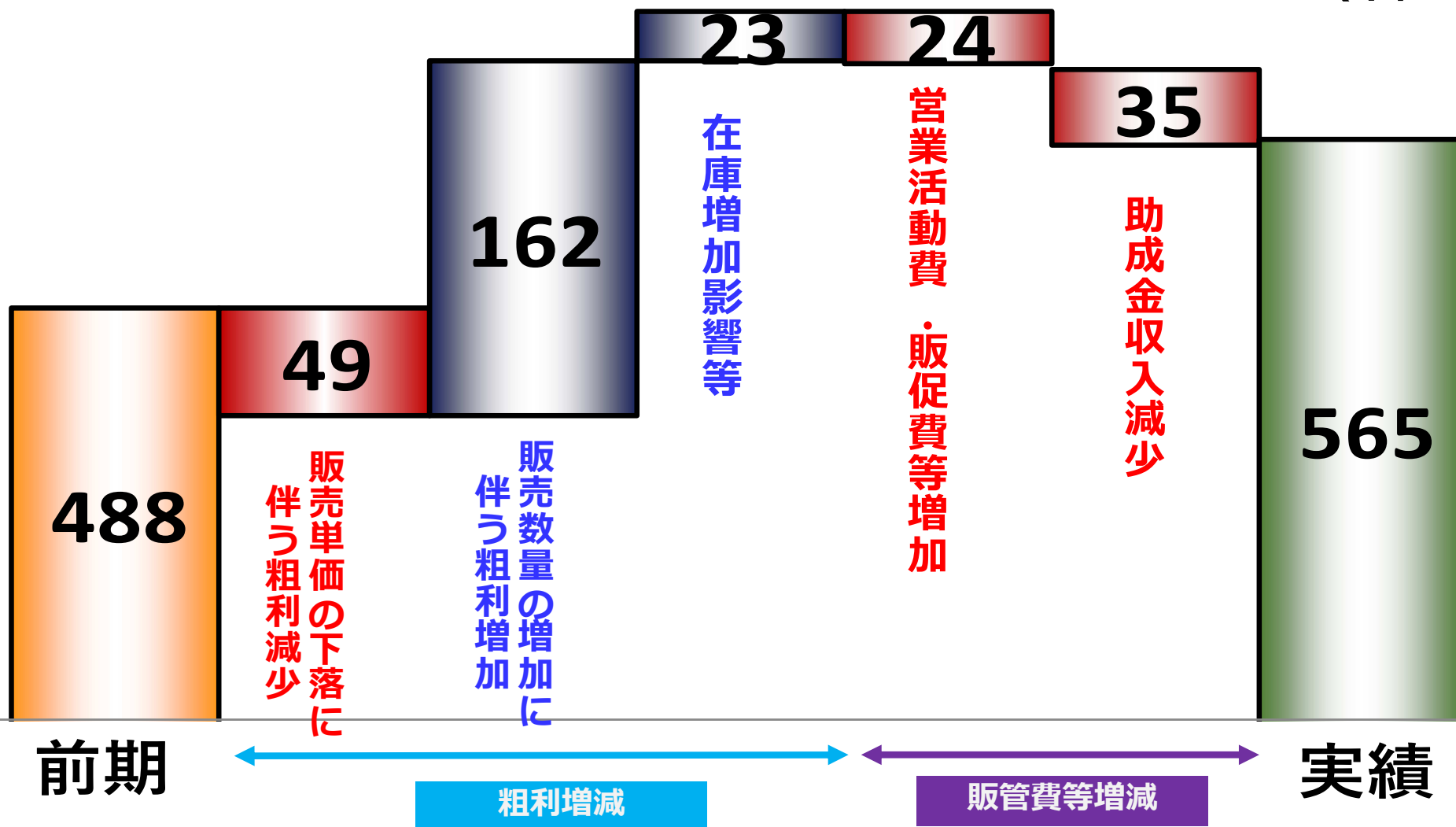
(単位：千個)



□2022年3月期第2四半期経常利益差異分析 (前期比)

手術件数の回復に伴い売上復調傾向

(単位：百万円)



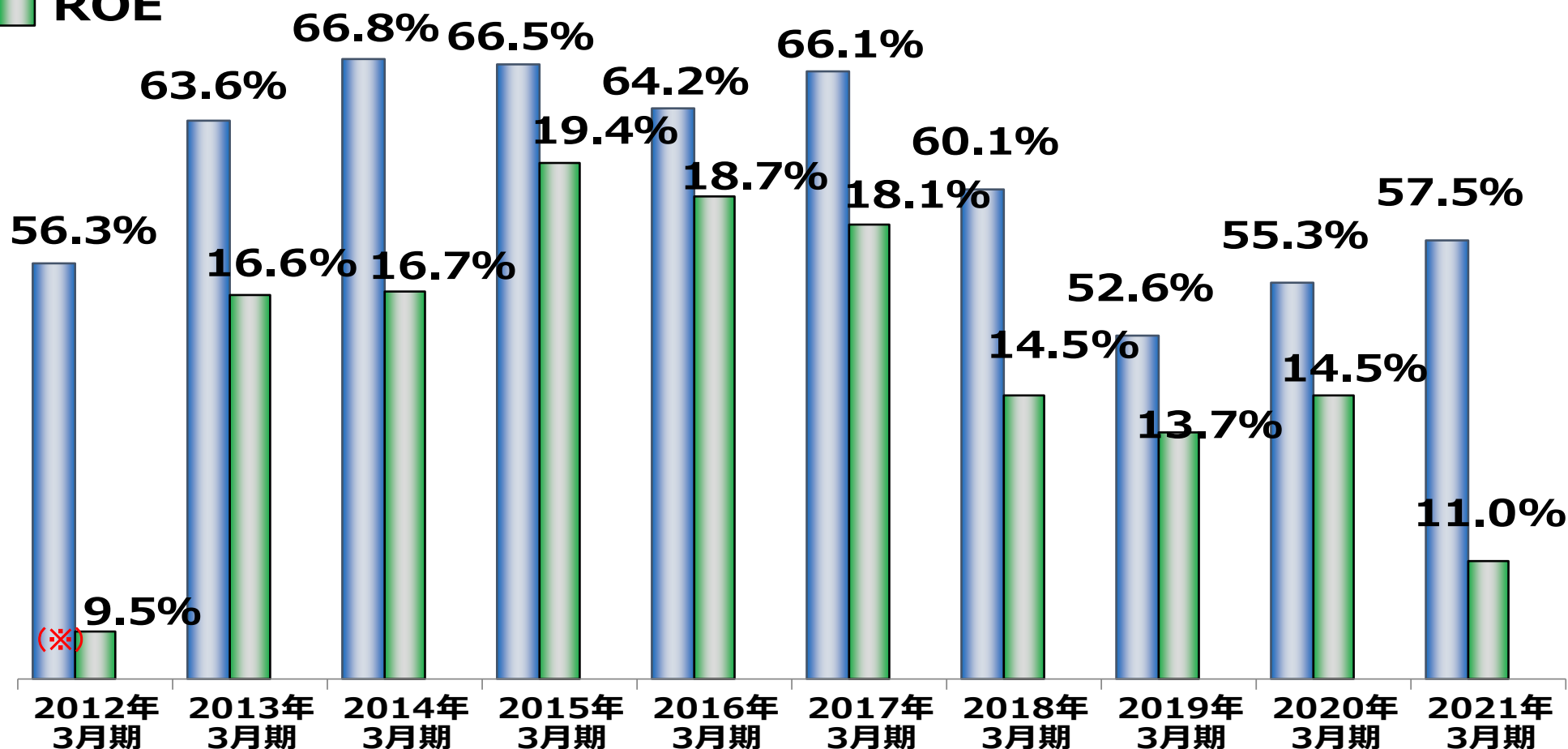


# □ 経営指標の推移

## 財務健全性および収益性は比較的高い水準を確保

■ 自己資本比率

■ ROE



※2012年3月期については、役員退職慰労金廃止、税制改正に伴う繰延税金資産の取崩し（204百万円）が発生している為、一時的に減少しております。

# 2022年3月期 通期業績予想

---

# □2022年3月期通期業績予想と配当予想

**新製品投入により増益回帰へ**

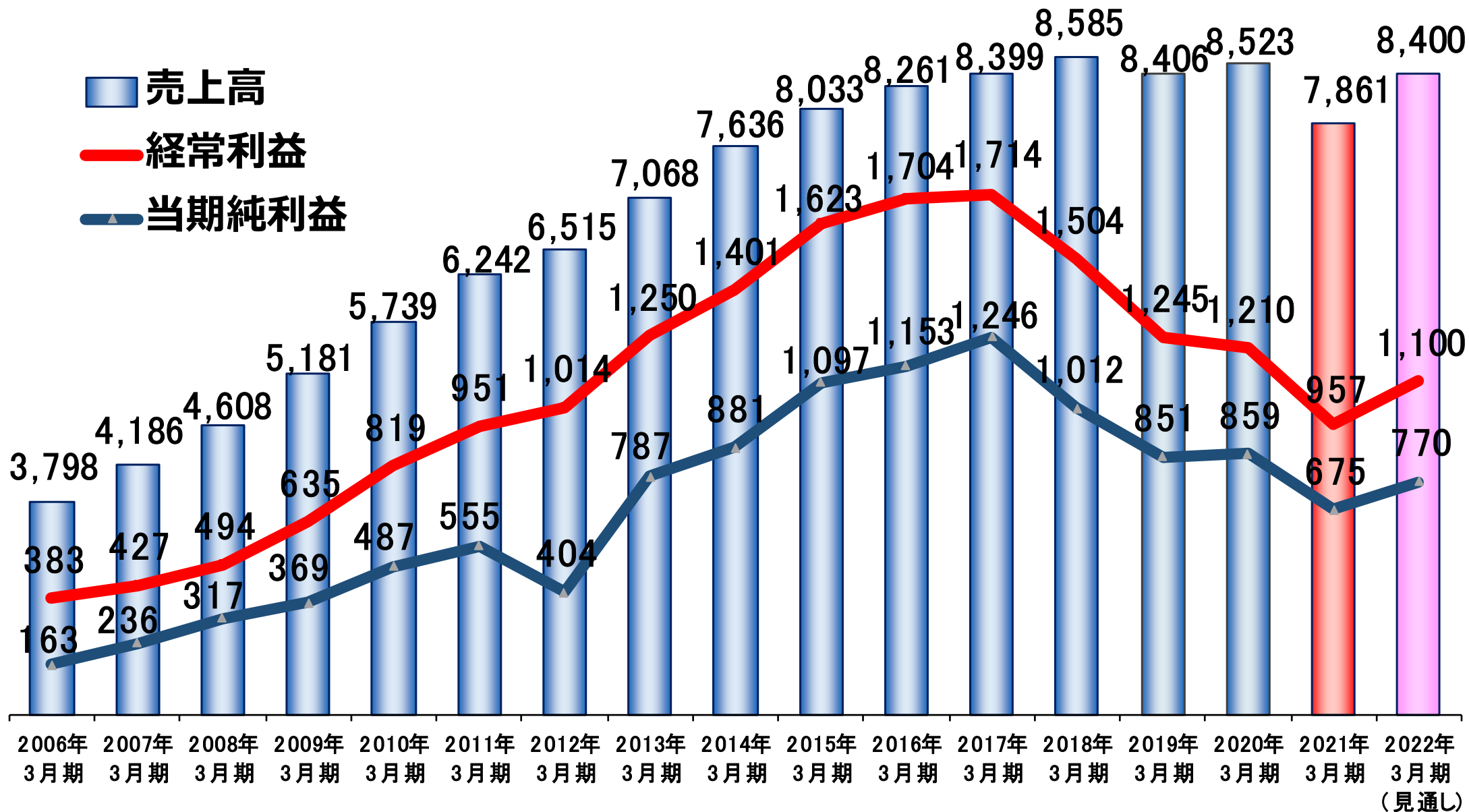
(単位：百万円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (見通し)	前期比
売上高	7,861	8,400	6.8%
営業利益	921	1,100	19.4%
経常利益 (経常利益率)	957 (12.2%)	1,100 (13.1%)	14.9%
当期純利益	675	770	14.0%
1株当たり配当金	20.0円	20.0円	—
配当性向	85.1%	74.6%	—

# 業績の推移

(単位：百万円)

- 売上高
- 経常利益
- 当期純利益



# □2022年3月期売上構成の見通し

**バイロン（吸引器関連）、エイミー（注入器関連）の  
販売促進に注力し、来年度以降の飛躍に**

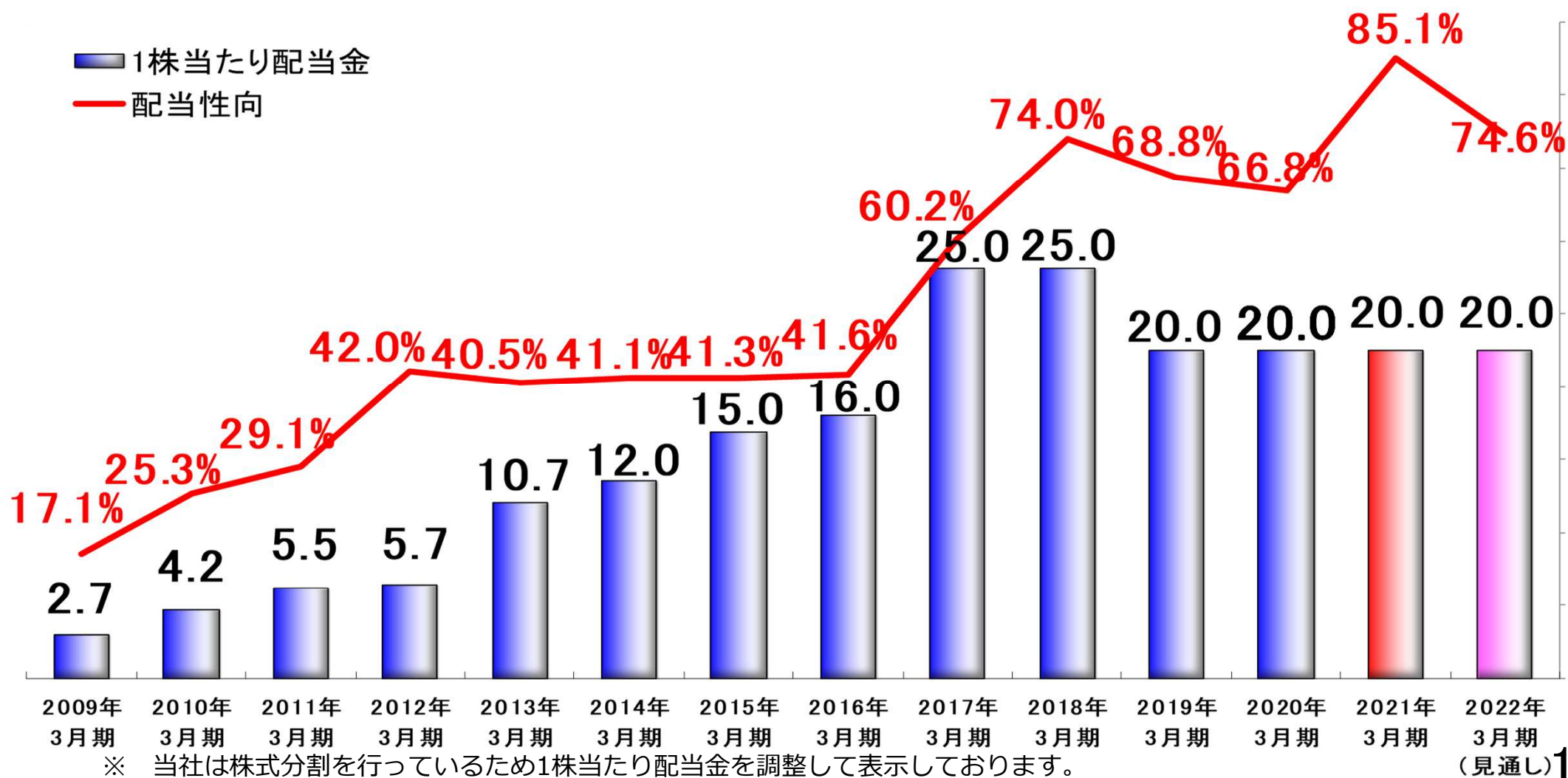
（単位：百万円）

	2021年3月期 （実績）		2022年3月期 （見通し）		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>吸引器関連</b>	<b>5,128</b>	<b>65.2%</b>	<b>5,515</b>	<b>65.7%</b>	<b>7.5%</b>
（キューインポットのみ）	（1,962）	（25.0%）	（2,149）	（25.6%）	（9.5%）
（フィットフィックス+バイロン）	（3,165）	（40.3%）	（3,366）	（40.1%）	（6.4%）
<b>注入器関連</b>	<b>1,686</b>	<b>21.5%</b>	<b>1,868</b>	<b>22.2%</b>	<b>10.8%</b>
（PCAセット+エイミー）	（1,413）	（18.0%）	（1,595）	（19.0%）	（12.9%）
<b>電動ポンプ関連</b>	<b>181</b>	<b>2.3%</b>	<b>177</b>	<b>2.1%</b>	<b>▲2.2%</b>
<b>手洗い設備関連</b>	<b>547</b>	<b>7.0%</b>	<b>507</b>	<b>6.0%</b>	<b>▲7.3%</b>
<b>その他</b>	<b>318</b>	<b>4.0%</b>	<b>333</b>	<b>4.0%</b>	<b>4.7%</b>
<b>合計</b>	<b>7,861</b>	<b>100.0%</b>	<b>8,400</b>	<b>100.0%</b>	<b>6.8%</b>

# □配当金の推移

安定的かつ積極的な利益還元

配当性向60%以上の利益還元を実施





# 今後の成長戦略（今期本格上市の新製品）



# □ 吸引器関連の新製品（バイロン）

マーケットを支配する次世代吸引器を開発

## ① 既存品（フィットフィックス）

国策として医療費削減を背景に  
販売単価下落の脅威



## ② 新製品（バイロン）

独創的な医療機器を早期に上市



**特長**

1. 排液計量機能
2. 吸引カアップ°
3. 原価低減

**波及効果**

1. 新工場活用
2. 海外へ展開



# □ 注入器関連の新製品（エイミー）

中長期的な成長エンジンとなる

マイクロポンプ関連製品の開発を推進

## ① 既存品（SJ/BJ）

硬膜外麻酔からIVPCAの増加  
ディスポから機械式PCAへの変遷

（当社ディスポ）



## ② 新製品（エイミー）

医療現場にイノベーションをもたらす新商品



（マイクロポンプを  
搭載した新型薬液注入器）

**特長**

1. 超軽量（QOL向上）
2. 簡単操作（医療安全向上）
3. 優れた拡張性
4. ディスポ保険適用

**応用展開**

1. 遠隔・在宅への展開
2. 汎用ポンプへの展開



商品開発研究所(大阪府和泉市)

# 本日はありがとうございました。



医療社会を未来する——

**大研医器株式会社**

本資料及びIRに関するお問合せ先

**大研医器株式会社 財務経理部**

TEL 0725-30-3574

URL <http://www.daiken-iki.co.jp/ir/>

本資料における将来の予想等に関する各数値、戦略等は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。実際の業績等は、様々な要因により予想とは異なる結果となる可能性があります。

# □株価の推移（ご参考）



出典：Yahoo JAPANファイナンス

※ 当社は2009年10月に1：2の株式分割、2013年7月に1：2の株式分割、2014年11月に1：2の株式分割を行っているためそれ以前の数値は調整を行っております。